京都 農業会議 だより

第32号 H26.3

発行　京都府農業会議
〒602-8054 京都市上京区出水通油小路東入丁子風呂町104-2 京都府庁西別館内
TEL:075(441)3660

トピックス topics

p1◆「農業に逆風。でも力を合わせて頑張ろう！」女性農業委員が26年度活動計画を決定
p2◆農業委員会の活動を地域に示そう!!／全国一斉に農業委員会制度・組織改革に向けたアンケートを実施
p3◆地域での話し合いをベースに戦略的な活用を／「法人化請負人」を派遣しています！／経営者組織の研修・交流を支援
p4◆常任会議だより

「農業に逆風。でも力を合わせて頑張ろう！」女性農業委員が26年度活動計画を決定

統一選挙での女性の登用拡大にも取り組む

府内の全49名の女性農業委員が加入されている「きょうと女性農業委員の会」が2月18日に総会を開催し、新年度の活動計画を決定しました。

会の発足から8年目を迎え、全国ネットワークへの参画などにより、今後の活動の幅が拡がってきたことから、着実な実践をさらに積み重ねることを確認。7月の農業委員統一改選に向けた女性農業委員の登用促進のため活動や、「会報」の発行など、引き続き、目に見える活動をめざし取り組むこととなりました。

総会では、昨年10月の東海・近畿ブロック研修会の主催地としての開催など、この間の活動実績を振り返り、今後に向けた「食育」や「米飯推進」などについて活発な意見交換の場となりました。

女性登用の申し合わせを読み上げる吉田副会長

市町村農業委員会の女性農業委員数

（人）

京都市	4	井手町	1	京丹波町	4
向日市	2	宇治田原町		綾部市	3
長岡京市	2	木津川市	2	舞鶴市	3
大山崎町		笠置町		福知山市	2
宇治市	1	和束町	2	宮津市	1
城陽市		精華町	2	与謝野町	2
久御山町	1	南山城村	3	伊根町	1
八幡市	2	亀岡市	3	京丹後市	2
京田辺市	3	南丹市	3	合計	49

農業委員会の活動を地域に示そう!!
南・北で農業委員研修・交流会を開催

京都府農業会議は、「地域から見える農業委員会活動」をテーマに1月29日（北部）、2月27日（南部）の両日、「農業委員研修・交流会」を開催しました。

研修・交流会には、延べ200名の農業委員が参加。南北両ブロックとも、参加した農業委員から発言が相次ぐなど、活発な意見交換が行われました。

北部ブロック・千賀誠八郎氏

「京力農場プラン」「明日の温江村プラン」ができた。でもこれはスタートライン。集落のみんなで、いつでも話し合いが出来る絆をつくっておけば、何とかなる。

南部ブロック・飯田喜代視氏

都市近郊地域では非農家の住民にも農地への関心をもってもらい、農業のサポーターになってもらうことが大事。農業委員が総出で遊休農地解消の実証圃場づくりに取り組んでいる。月に一度、総会に来るだけが農業委員の仕事ではない。

南部ブロック・堀江幸和氏

新しい農業委員会だよりをつくってから、非農家の住民から意見が寄せられるようになった。広報紙の役割はとても重要。でも、農業委員自身が楽しくないと…

ブロック	内　　容
北部 10委員会	「明日の『温江（あつえ）村』プランの作成に向けた話し合い活動」 与謝野町農業委員会　千賀 誠八郎 氏 「農業・農政をめぐる情勢と農業委員会組織に期待される役割」 全国農業会議所事務局長　柚木 茂夫 氏
南部 16委員会	「地域から見える農業委員会活動をめざして ～遊休農地解消に向けた大和郡山市農業委員会の取り組み～」 大和郡山市農業委員会　会長 飯田喜代視 氏 「農業委員会活動と広報紙の役割」 京田辺市農業委員会広報アイデア委員会　委員長　堀江 幸和 氏

全国一斉に農業委員会制度・組織改革に向けたアンケートを実施

近年、農業委員会系統組織に対して、各方面から様々な意見が出されています。例えば、農業委員会が農地法に基づく許認可業務とその他の推進業務をあわせて担うことなどについて、疑問視する声が上がっています。

特に、これまでから農業委員会に対して批判的な立場をとってきた内閣府の規制改革会議は、今年6月に農業委員会のあり方についての意見をとりまとめるとしています。

こうした動きを受け、全国農業会議所は全国一斉に、組織改革に向けた意見集約に取り組むこととなり、各委員会にアンケートのとりまとめを依頼したところです。

この結果をもとに、自らも襟を正しつつ組織改革の方向性を示すことにしています。なお、言われ無き、批判には敢然と反論していくことも必要です。

地域での話し合いをベースに戦略的な活用を

農地中間管理事業への対応方針

来年度夏の農地中間管理事業のスタートを控え、京都府農業会議は「農地中間管理機構事業への組織対応について」（第１次）を府内農業委員会に示しました。

中間管理事業を、地域の話し合いをベースにした地域農業の仕組みづくりに戦略的に活用することとし、当面の課題として

▲農業者への制度の周知徹底

▲農地の出し手と受け手の把握

▲集落座談会等、農業についての話し合い活動の推進

を掲げています。

農地中間管理事業は当初、国の制度設計の段階で、農業委員会の関与が否定されるなどの経緯がみられましたが、事実上、農業委員会の関わりなくしては運用できないとの国会での付帯決議により、農業委員会は重要な役割を期待されることとなりました。

「法人化請負人」を派遣しています！

京都府農業会議では、法人化を志向する農業経営体をサポートするため、「法人化請負人」の税理士や中小企業診断士を府内各地に派遣しています。

２～３月には、宮津市・舞鶴市・福知山市・京都市で農業者の個別相談に対応するとともに、綾部市の志賀郷北部３町区、福知山市の細見谷農業生産組合など、地域営農組織の研修会を支援しました。

なお、請負人への相談は無料です。お気軽に農業会議までお問い合わせください。

松井請負人が出席した細見谷農業生産組合（福知山市三和町）の研修会（2/27）

経営者組織の研修・交流を支援

京都府農業会議は、「京都農業懇話会」（清水幸雄代表）と「京都府農業法人経営者会議」（山田敏之会長）の事務局として、経営者組織の自主的な活動を支援しつつ「担い手の経営発展」を応援しています。

最近の取り組みを紹介します。

・仲間の法人化を学ぶ（京都農業懇話会）

京都農業懇話会と農業会議は、２月18日、京都市内で「経営力向上セミナー」を開催しました。

今回のテーマは〝仲間の身近な法人化事例を学ぶ〟。城陽市の㈱森島平兵衛農園・森島範紘さん、京丹後市の㈱野木源・野木武さん、京都市の京都鷹峯樋口農園㈱・樋口昌孝さんの３名が実践報告を行った後、「法人化して良かったこと、悪かったこと」を本音で語りあいました。

・兵庫県の農業法人と交流（京都府農業法人経営者会議）

京都府農業法人経営者会議（山田敏之会長）は、兵庫県農業法人協会（谷口正友会長）と協力して、１月23、24日の２日間、兵庫県篠山市内で現地交流会を行いました。

交流会には、両府県の農業法人経営者など約50名が参加。農水省と兵庫県・京都府から報告を聞いた後、連携促進や経営発展をテーマに意見・情報交換を行いました。

京都府内からは、こと京都㈱、㈲丹後ワイナリー、(農)日本海牧場、㈱味歩里、㈲オアシスランド、(農)美山おもしろ農民倶楽部、新田農園などが出席。両府県の強みを生かした農業ビジネスのビジョンを語りあいました。

常任会議だより

農地法等諮問案件の審議のほか、次の課題を協議しました。

第３８６回常任会議（12月18日）

協議

①平成26年度事業計画の骨子について

報告

①「農地中間管理機構」について

②「米政策」を巡る状況について

第３８７回常任会議（1月22日）

協議

①平成26年度京都府農業会議事業計画案について

②第１０９回総会の運営と提出議案について

③農地中間管理機構事業への組織対応について（第１次・案）

報告

①平成26年度京都府農林関係予算案について

第３８８回常任会議（2月26日）

【農地法諮問案件の審議件数】（12～2月）

第4条	15件	7、558㎡
第5条	48件	50、015㎡
第18条	1件	1、087㎡
計	64件	58、660㎡

〈会議員現地調査案件〉

農地法に基づく諮問案件　9件

・12月9日（京丹後市）

・12月10日（宇治田原町）

・1月14日（八幡市）

・1月15日（綾部市）

・3月13日（京丹後市）

・3月17日（福知山市）

府内の新規加入者が過去最高！農業者年金の魅力が浸透中！

農業委員会等の加入推進により、京都府内の農業者年金の新規加入者が右肩上がりです。３月暫定値では、昨年度を上回り25人となっています。

『制度を知らずに加入できなかった農業者をなくそう!!』

農業者年金　新規加入者状況

３月全国状況（暫定値）

全国累計（人）	108,057	
新規加入者数　全国合計	390	前月比＋38
新規加入者数　第１位	144	北海道
新規加入者数　第２位	31	熊本県
新規加入者数　第３位	18	茨城県
新規加入者数　第３位	15	長野県
新規加入者数　第５位	14	長崎県

京都府状況（平成25年度）

京都府累計	25
久御山町	8
京都市	3
向日市	2
長岡京市	2
城陽市	2
京丹後市	2

◆女性の加入者も増えています！

出版案内

『図で見る 改正農地制度で進めよう！農地の集積・利用』

コード 25－52 772円

A4判 36頁

「農地中間管理事業の推進に関する法律」の施行例・施行規則の内容も含め、わかりやすく紹介。「改正後の農地制度」の農村現場への早期定着の一助に！

＊イメージ図が多い！

＊前編カラー